項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	転移性去勢感受性前立腺癌に対する一次治療の薬剤選択と治療成績に関する後ろ向き観察研究
	研究対象者	転移性去勢感受性前立腺癌（ホルモン療法が効く状態で転移のある前立腺がん）と診断された患者さんのうち、2019 年 1 月から 2026 年 9 月の間に神奈川県立がんセンターで初回の薬物治療（アビラテロン、アパルタミド、エンザルタミド、ダロルタミド、ドセタキセルなど）を開始された方
	研究目的	転移のある前立腺がんの初回治療では、ホルモン療法に新しいホルモン剤を組み合わせる治療（ダブレット療法）や、さらに抗がん剤のドセタキセルを加える治療（トリプレット療法）が行われています。しかし、どのような患者さんにどちらの治療が適しているかは、まだはっきりしていません。本研究では、当センターでこれらの治療を受けた患者さんの診療記録を調べ、治療の効果や副作用、その後の治療の経過を比較することで、患者さんごとにより適した治療を選ぶための手がかりを得ることを目的としています。
	研究方法	この研究は、通常の診療で得られた診療記録（カルテ）の情報のみを用いて行います。新たな検査や治療、来院をお願いすることはなく、費用のご負担もありません。年齢、病気の進み具合（病理診断、転移の部位や数）、血液検査の結果、画像検査の所見、治療の内容、副作用、治療の効果やその後の経過などの情報を電子カルテから収集し、治療法ごとに効果と安全性を統計学的に解析します。研究の結果は学会や医学論文で発表しますが、患者さん個人が特定される情報は公表しません。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードを設定した当センターの統合データベース用 PC で厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2026 年 11 月 2 日 ～ 西暦 2030 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[✓]総長が研究実施を許可した日 [__] 西暦　　年　　月　　日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[__]試料:	[__]血漿、[__]血清、[__]全血、[__]末梢血から抽出した DNA、 [__]病理検体(具体的に記載:_____)、 [__]尿、[__]糞便、[__]唾液、[__]胸水、[__]腹水、[__]脳脊髄液、 [__]毛髪、[__]その他(具体的に記載:_____)
	[✓]情報:	[✓]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✓]年齢、[__] 生年月日、[✓]性別、[✓]既往歴、[✓]併存疾患、[✓]外来日・入院日・退院日、[✓]臨床検査値、[✓]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✓]臨床所見・経過（予後追跡データを含む)、[__] ゲノムデータ、[__]看護記録、[__]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	泌尿器科　鈴木敦人
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	該当なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター　泌尿器科　鈴木敦人 住所：神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2 電話：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 11 月 30 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります